

令和3年度第2回十和田市総合教育会議 会議録

日 時 令和4年2月8日 午前10時00分より
場 所 十和田市役所 本館3階 庁議室

出席者	十和田市長 小山田 久			
	十和田市教育委員会	教 育 長	丸井 英子	
	〃	委 員	斗沢 一雄	
	〃	委 員	大柳 均	
	〃	委 員	深瀬 郁子	
	〃	委 員	益川 毅	
	十和田市教育委員会事務局	教 育 部 長	今 辰八	
	〃	教 育 総 務 課 長	原田 克人	
	〃	指 導 課 長	佐々木 隆一	
	〃	体・つ・生涯学習課長	高 淵 貴徳	
	〃	教育総務課長補佐	五十嵐 一美	
	〃	指 導 主 事	泉 順（説明者）	

教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日は、ご多用にもかかわらず、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。 ・ ただ今より、令和3年度第2回十和田市総合教育会議を開催いたします。 ・ はじめに、市長からご挨拶をお願いいたします。
市長	あいさつ（略）
教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます ・ 続きまして、次第2の議事に入りますが、ここからの進行は市長にお願いしております。市長よろしく申し上げます。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、次第2の議事に移らせていただきます。「GIGA スクール構想における市立小・中学校の ICT 活用状況について」、事務局から当該事業の説明をお願いします。
指導主事	説明（略）＜説明時間 18 分 16 秒＞
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます 今年度から始まった事業でございますが、今、説明にありましたとおり、各学校で進んでいる実態がうかがえたと思います。私も今見て、子どもの教育もさることながら、むしろ教員がその教え方について、ICT を活用して、これからの教育に役立てるといいますか、より効果的な教育方法を構築していくために大変重要であると感じております。今の説明の中で、もう少し聞きたいとか、ここ一体どうなっているんだろう等々、何でもよろしいですのでご意見等あればお願いしたいと思っております。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ この資料は（委員に）事前にお渡ししてある？

事務局	・ はい。
市長	・ どなたでもよろしいです。
斗沢委員	(挙手)
市長	・ では、斗沢委員。
斗沢委員	・ 斗沢と申します。36番(ページ)、デジタルコンテンツの活用ということで、文科省でデジタル教科書を来年度からやるということを書いていました。手始めに英語だと思いましたが、これからの見通しがどういったものになっているかということと、デジタル教科書を实际運用することになると、タブレットに入れて見るということになりますが、自宅学習は無理かなと思うんですが、いかがですか？
指導主事	・ 国が進めておりますデジタル教科書は、インターネットの環境が整っていれば、どこからでも繋ぐことができるものを提唱しております。实际、来年度もその形のデジタル教科書が各端末に配置される予定となっております。
益川委員	(挙手)
市長	・ 益川委員、どうぞ。
益川委員	・ 分かりやすい説明、ありがとうございました。今年の学校訪問に行かせていただいた際に、子どもさんたちが先ほどの泉先生の説明にありましたとおり、すばやく吸収されてすごく活用していたなと印象に残っています。ただ、視力は大丈夫なのかなということと、姿勢が良くない子どもさんもいたので、そのフォローも大事になってくるのかなと思ったところです。 あと、三本木小学校の校長先生が「先生方が『これはいいものだな』と思わないと、うまく使いこなせなかったり、定着するところまでいかないのかな」とお話しされていたので、委員会で研修会を行っていただいたりだとか、目安を作っていただいたりだとかお願いしたいと思います。私たちの時代から比べたら隔世の感がしますし、もし私が小学生だとすれば、体育の授業でマット運動をした時に変な格好で回っているのをすぐ見れたりだとか、そういう使い方ができれば素晴らしいかなと思いました。どんどん可能性が広がってくるような利用ができると思いました。
市長	・ ありがとうございました。今、お話しがあったとおり、まず視力、姿勢にしっかり注意しながら、子どもたちにとって大事なことでありますから。色々教育されているとは思いますが、今の件について事務局からお話しありますか。
指導主事	・ 端末を配備する際に、シート1枚ものですが「このように使ってください」ということをお渡ししています。例えば、「画面から30cm以上離して使いましょう」、「30分くらい使ったら1度目を休めましょう」とか、何項目かにわたる事前指導は各学校にお願いしてあります。

市長	・他にありませんか。
深瀬委員	(挙手)
市長	・深瀬委員。
深瀬委員	・丁寧な説明ありがとうございました。私からは1点です。道徳のデジタル教科書とは、どういったものでしょうか。
指導主事	・紙の物が、実際の画面で表示されます。例えば、ルビを振りたければルビが出てきたり、音読をしたり、挿絵や動画資料も載せることにより、文字で追うだけだった紙面の資料が、よりリアルな形で子どもたちに提供されていくようなものを想定しています。
深瀬委員	・分かりました。私はよく小学校に読み聞かせで行っているのですが、子どもたちが機械(タブレット)を使いこなしているのをよく見ているつもりです。私も本を読む時に使ってみたのですが、学校で使っているのと、個人的に使っているとあって、子どもたちには情報モラルや情報リテラシーの教育をしっかりとやっていただきたいと思います。
市長	・ありがとうございました。
大柳委員	(挙手)
市長	・大柳委員お願いします。
大柳委員	・今日、説明を聞きまして、非常に分かりやすい説明でありがとうございました。授業が進んでいって、タブレットに集中して、途中で止まれなくなる子どもが学校訪問のときにいたので、そういう場合、どのように指導しているのかな。そこが一番重要かな。授業が進まなくなりますよね。もう指導できているのかな、これからかな、と思いました。
指導主事	・実は、ロイロノートスクールのアプリには、強制的に画面を静止させる機能が付いておりまして、ロイロノートを活用されてる先生方は、その機能を使って、「はい、こちら(先生)を見てください」ということもあります。ただ、その他のアプリには、そういった機能はないので、口頭で「閉じる」とか様々な指導をされていると思います。
市長	・そういった時に子どもたちの受ける教育、得手不得手に差が付いてくるものですか。
指導主事	・今のところは、まだ、大きな声は聞こえてこないですけども、これからもっともっと活用が進んでくると、子どもたちそれぞれの特性に合わせて様々な問題が生じてくるのではないかと予想しています。
市長	・他にありませんか。

斗沢委員	<ul style="list-style-type: none"> 感想ですが、泉先生の説明を聞いて、私、この年になると中々付いていけないのではないかと思ったのですが、分かりやすい説明、大変ありがとうございました。「十和田市のICTの活用状況について」という説明でございましたが、泉先生の説明と併せて、学校訪問したときに授業風景を目にすることができました。すごく子どもたちにとっては、効果的な授業ではないかなと、様々な面での活用が見られたと感じています。先ほども申しましたが、この年になるとコンピューターに対する理解度が難しいのですが、ある程度年配の先生が果たして付いていけるのかと心配しました。説明にもありましたが、度重なる先生方への研修を全5回やっているとか、各学校へ講師に出向しているとかあったので、タブレットを使っているときは、子どもたちはもちろん、先生も楽しい授業に見えたので子どもたちを試してみれば、授業に関心を持つことができたとし、それがつながって理解も深まっていくのかなと、非常に効果的だなと思っています。これからも進めてほしいと思いますし、さらに授業の改善も含めて学力を定着させるとなると、問題は先生方の研修会の必要性だと思います。来年度も年5回やりたいと書いてますが、是非とも進めてほしいものだなと思いました。陰ながらですが、これからも支援していきたいと思います。ありがとうございました。頑張ってください。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ちなみに教育委員会の中での講師もいると思いますし、外部の講師も依頼して受けるのは、年にどのくらいありますか。
指導主事	<ul style="list-style-type: none"> 県外の講師を2名、オンラインでつなぎまして、講話をお願いしております。
市長	<ul style="list-style-type: none"> それは、来年度も当然あるものなんですね。
指導主事	<ul style="list-style-type: none"> はい。国がそのような人材を登録しているところがございまして、そこに連絡をして講師の方を紹介していただいています。
市長	<ul style="list-style-type: none"> まだ時間がありますので何かありませんか。
大柳委員	(挙手)
市長	<ul style="list-style-type: none"> 大柳委員。
大柳委員	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちがすごく輝いて取り組んでいるような感じがします。子どもたちは新しいことに抵抗感なく取り組みますので。皆さんご存じだと思いますが、先生方の研修が一番大事だなと思います。全教師の研修をどうやって上手くやっていくか、先ほどから色々な研修をやっているようですが、全員落ちこぼれのないようにやっていく方法を考えてくれれば助かるなと思いました。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 今日の議題にも関係するんですが、今後どうあるべきか等については、また改めて議論したいと思います。先ほど、ICT教育の実態と申しますか、活用がどこまで進んでいるか、どのようなことをやっているのかについて、という議題でございました。教育長、何かありませんか。

教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未来の社会で、デジタル技術を活用できる人材というのは必須なわけですから、今の子どもたちは、その社会の中で生きていかなければなりませんので、学校教育においても、その技術については身に付けていかなければいけないと思います。また、先ほど、泉指導主事からも説明がありましたが、紙の教科書、紙媒体は要らないのかとなりますと、デジタルよりも紙の方が書かれてあること、表現されてあることをじっくりと反芻しながら考えることができるという研究なども成果として出ております。それを考えますと、どちらを選んでいくかというのは、学習のねらいであったり、場面であったり、今後はそれを選択できるかどうか。デジタル教科書をはじめとするタブレットを通したそういうものは、魔法の杖ではありません。学力の向上に直結できているかということ、様々な課題を述べている研修者もいらっしゃいます。ですから、やはり、今年、来年は教職員の技術の向上、それから子どもたちが如何にそれを使いこなせるかということに全力を傾けていかなければならない時だと思うので、まずは、そこに力を入れています。だけど、それ一辺倒ではありません。大事なのは、これまで蓄積してきた教育技術をしっかり大事にしながら、より効果的な、子どもたちが「学習って楽しいな」、「色々な世界の人たちと繋がれるな」など、そういう視野の広さというものをデジタル化というものを通して体験できたら、学びも広がると思っておりますので、今年と来年は強化年度ということで取り組んでおり、その過程であるのご理解いただけたらなと思います。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます。確かに、今年度の事業でございますが、大分進んでいるということ、つまり子どもの理解度が進んでいるという感じを受けます。
指導主事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちが取り組む姿勢の変化を先生方は大変感じているようです。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ さて、それでは、今後の課題と申しますか、今年度一年間通してみても、こういう課題があったな、来年はどうしよう、新たに何をしよう等々、特に来年度は予算に関わることもありますので、こうして欲しいだとかの思いを含めてご意見をいただきたいと思います。先ほど、大柳委員からもお話しありました教員の件についてですが、特にそういったことに留意して、特に何かをするということはありませんか。
指導課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員の研修についてですが、今年度はじめて学校に機器が入ったということで、学校訪問の際に、全先生が自分のタブレットを開いてID、パスワードを入力してログインする、実際にロイロスクールを使うというところに重点を置いたスタートでした。今回は、ある程度できるようになったと7割くらいの先生が回答しています。今度は、より充実した使い方ということになりますと、研修もただの操作の仕方から、より効果的な使い方というプログラムを用意していかなければならないと思います。それと合わせてモラルについても、情報モラル教育を子どもたちが自分のこととして考える、主体的に取り組むモラル教育をどうするかなど具体的な個々の内容を充実させた研修となるよう検討しているところです。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 十和田市のICTを活用した計画は何段階かあるんですか、計画とか。

指導主事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3ヶ年計画で推進計画を作成しております。今年度が第1段階で「まず、やってみる」というところです。来年度は更に深めて、再来年度は3年かけてこういったところまでという目標を掲げております。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他にご意見ありますか。
益川委員	(挙手)
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 益川委員。
益川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ある程度年配の先生ですが、335名の先生方が研修に参加されて理解できたのが7割くらいということで、残り3割の先生方はもしかすると中高年の先生方なのかなと勝手に想像したりしてるんですが、子どもたちに対する公平な教育という観点からすると、経験豊富でスキルの高い先生方が、子どもたちに教えられないというのは勿体ないなと思って。フォローがあればいいのかなと思いました。
指導課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年間、研修センターで研修をやって、ICT研修に参加した数というのはかなりの数です。これは続けながらも、今度は校内研修という学校の中に講師を送り込んで、学校の中の課題についてアプローチしていくICT研修について踏み込んでいきたいなと考えています。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ それは個別研修のようなものですか。
指導課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ研修、先生方が集まってテーマを設定して研修する中に講師を送り込んで一緒にやっていくというものです。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今、益川委員がおっしゃった、教員の機器の利用で子どもたちの教育への理解の差がでてくるようなことがあっては問題にしていかなければならない。おそらく、各学校で比較するのはどうかと思うんですが、ICTの理解が進んでいる学校とそれほどでもない学校があると思うんですが、横並びの教育をする側にとっても大事ですので、専門家に個別に研修をしていただく必要があるなと思います。
指導課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度に向けて、ICTの支援を行うICT支援員というものを予算要求をしています。今までは指導主事が頑張って対応していますが、プラス、サポートスタッフとして支援員を考えております。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT支援員というのは、ICTに強い方、もちろんそれを授業で使える方、機器のトラブルの時に対応できる方、そういう方々が実際に学校に行って、授業ではこういうふうに使った方がいいというようなことを校内研修で、得意でない方も具体的に分かるように助言してくれたり、機器トラブルを解決してくれたりする方を2名要望しています。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状では個別対応しているんですか。
指導課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 十分対応しきれっていませんけども対応しています。

教育長	・指導主事たちが頑張って本来の業務と兼務しているという感じです。
市長	・他にどうでしょう。来年度、教育委員会として、GIGAスクールについてステップアップするとか変わったところがありますか。
指導課長	・研修内容のステップアップとともに、デジタル教科書事業が本格的にスタートするので、その検証に注力していきたいと思います。それと、モラル教育に力を入れていきたいというのと、ただ使うというのから、どう使うかという所に取り組むことになっています。
斗沢委員	・ICTからちょっとズレるかもしれませんが、十和田市でも子どもたちが1人1台タブレットを持つことができるようになりました。今のコロナ禍で在宅でのオンライン授業というのが聞かれます。十和田市では在宅のオンライン授業が可能かどうか、やるとすれば考えられる問題とか教えていただければと思います。
教総課長	・オンライン授業を想定した場合、Wi-Fi環境というものが必要になってきます。100%の家庭にあるものではないというのが懸念される1点目です。それから、オンライン授業を行うにあたっての教員の負担増ということも懸念されます。学級閉鎖を行って、子どもたちが自宅待機となった場合、担当教員も在宅勤務となってしまった場合、他の教員がそれを補う、オンライン授業をずっとやる、授業の進度が違っていたりなどの問題が懸念されます。問題を見極めていく必要があるのかなと思います。
市長	・確かに、リモートで教育ができるためには、先生の問題もありますが、ハードというか環境整備が必要というか、今年度中にはすべて光（回線）が届くと思ったんですが。
教総課長	・各家庭にWi-Fi環境が必要になってくるということです。
市長	・受ける方？
教総課長	・そうです。
大柳委員	・各家庭でWi-Fi環境をすべて整備するということは、まず無理だなという感じがします。今現在、どのくらいの家庭でWi-Fi環境が整備されているか調査したものはありますか。
教総課長	・昨年度調査したところによりますと、約8割程度となっています。
大柳委員	・セキュリティ環境もちゃんとできてるものですか？
指導課長	・子どもたちの使っているタブレットにロイロノートというアプリが入ってしまっていて、必ずロイロノートにログインしてからネットに繋ぐようになっています。ロイロノートにはフィルターがかかっており、タブレットを学校で使うことについてはネットセキュリティがかけられていま

	す。
大柳委員	・ 8割の家庭がW i - F iできるということですが、家庭のセキュリティ対策はきちんとできているか分かりますか。
指導課長	・ 大変難しい問題だと思っています。学校で繋ぐ場合は、非常に安全なサイトばかりですので、変なところに繋がらないように、どう指導をして使わせるという指導をしていますので、家庭のセキュリティは心配なところがあります。
市長	・ 予定の時間になりましたが、これだけは話したいということはありませんか。
一同	(特になし)
市長	・ それでは、来年度のことも含めて、教育長から一言お願いします。
教育長	・ タブレット端末が1人1台配置されてスタート年度となりました。一気にあれもこれもというのは安易というか、そぐわないなと思いました。教育委員会としては、形だけを整えていくのではなく、実質的な力を付けていきたい、そして最終的には授業をよくしたい、子どもたちの学力を高めたい、人間形成にも一助となってくれれば良いなと総合的に考えております。一步一步確実に先生方に身に付けてもらい、子どもたちには有効なI C Tの活用という力を身に付けて授業に繋げたいと思っております。それについて、予算等もございますけども、確実な実施に向けて勇みすぎず、I C Tの使い方によってははじめ問題だとか色々なことに波及していきます。しっかりその辺を研究しながら、子どもたちにとって便利な有効なはずのツールが子どもたちを苦しめる思いにさせることがないように、しっかりと教育委員会として対応を考えながら、そしていい授業をして実を結ぶように、子どもたちにとって将来の大きな人間性の育成に繋げていける、そういうふうなことを冷静に考えていきたいと考えております。
市長	・ ありがとうございます。この教育会議ですが、委員の皆様から色々思いをお伺いして、行政と連携しながら、当市の教育振興をいかに図っていくか、子どもたちのためというのが大前提となりますので、これからも、今日のお機会でなくてもよろしいですので、色々ご意見がありましたので、教育委員会にお声を通していただければと思います。丁度、時間になりましたので、事務局にお返しします。
教育部長	・ ありがとうございます。以上をもちまして、令和3年度第2回総合教育会議を閉会いたします。本日は貴重なご意見をありがとうございました。